

アジアカブトエビ

Triops granarius

背甲目 カブトエビ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



日本における分布域は、全国的に散在する。6月中旬に水田に現れる体長2～3cmのオタマジャクシのような姿をした生物。雑食で何でも食べ、成体の寿命は1～1.5月。県内に広く分布しているのは同属のアメリカカブトエビで、アジアカブトエビは県西部の一部で生息が確認されている。生息地が狭く、農薬などによる生息環境の悪化が懸念される。

(写真：松尾敏生 文：平松恒彦)

県内分布 中津市，耶馬溪町，天瀬町

分布域 本州，四国，九州（福岡・大分）

アフリカ，中近東～インド，中国